



第二種 衛生管理者

公表問題

解答解説

平成21年10月版

ネクストウイング
神戸市灘区岩屋北町4-3-15
078-861-6100
<http://www.nextwing.jp>

関係法令

- 問1 【1】
雇い入れ時の健康診断は、3か月を経過しない健康診断の結果を証明すれば、その健康診断の項目に相当するところは省略することができる。これは我々の体の細胞が3か月程度で変わっており、これ未満であれば体の大きな変化は生じないであろうとの考えに基づき、既に済ましているとの解釈で省略が認められている。
- 問2 【4】
病院（医療業）は、第一種衛生管理者、衛生工学衛生管理者又は医師等のうちから衛生管理者を選任しなければならない。第二種衛生管理者免許では、職務者に付くことはできない。
- 問3 【4】
（4）安全衛生に関する方針の表明は、事業場のトップであるそうかつ安全衛生管理者の職務として定められている。
- 問4 【2】
室の相対湿度は40以上70%以下になるように努めるようにしなければならない。10%ずつ低いので誤りになる。
- 問5 【3】
A、Cは工作機械がある事業所と覚えておけばよい。要するに屋外産業及び工業的業種の安全が必要などころの教育項目である。
- 問6 【4】
総括安全衛生管理者は、事業の実施を総括管理する者と限定されているが、衛生委員会の議長は事業の実施を総括管理するものまたは準ずる者でもよい。
- 問7 【5】
常時床面積の1/20以上開口部あれば換気設備を設けなくてもよく、1/15は1/20より大きくなるので合法である。
- 問8 【1】
派遣労働者が派遣先で被災した場合は、派遣先の事業者は労働者死傷病報告書を所轄の労働基準監督署長に届けると共に、その写しを派遣元に送付しなければならない。派遣元の事業者はその写しを受け取れば自社の管轄する労働基準監督署長に労働者死傷病報告書を提出しなければならない。
- 問9 【4】
同意書でなく意見書でよい。就業規則は労働条件を定めるもので、これに関しては強行法規である労働基準法を始めとして、労働条件の最低保障がなされており、法に反する就業規則の定めは無効になるからである。
- 問10 【5】
（1）災害事等の場合は協定化されていなくても、必要の限度で時間外労働及び休日労働が認められている。
（2）事業場を異にする場合でも労働時間を通算しなければならない。
（3）労働時間が8時間を超える場合は少なくとも1時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。
（4）清算期間は、1か月以内にしなければならない。

労働衛生

問11【2】

喫煙室及び喫煙コーナーの換気の優先順位は、局所排気装置 換気扇 循環方式の空気清浄装置である。

問12【5】

年次有給休暇を取って病気で休んでいる場合でも、病休度数率及び病休強度率の統計に算入しなければならない。

問13【1】

サルモネラ菌は、ネズミ、ゴキブリの糞尿に汚染された、食肉または玉子で発生する感染型食中毒である。

問14【4】

尿酸の量の検査は痛風の検査で、定期の健康診断の検診項目になっていない。

問15【1】

換気設備の改善等の工学的な対策で、作業環境を良好な状態に維持する労働衛生管理は、作業環境管理である。作業管理とは、作業やり方等で、たとえばVDT作業であれば、連続作業時間が1時間を超えないようにし、10分から15分の休憩時間を取るようにすることである。

問16【2】

B 実効温度を求める場合は、気流の測定が必要になる。

D 高温作業場での作業強度の評価として用いられている。これには輻射熱の測定が必要で、球温度計がなければ求めることができない。

問17【3】

ディスプレイ画面の上端の高さは、顔が上がらないように画面の上端が目の高さの平行かやや下ぐらいにしなければならない。

問18【1】

我々は大気の大気酸素約21%、二酸化炭素0.03~0.04%を含む空気を吸い、呼出するときは酸素約16%二酸化炭素4%になっている。密室で人が呼吸することで酸素濃度低下、二酸化炭素濃度が上昇する。二酸化炭素が0.1%まで悪化したとして想定して必要換気量を求める。換気しても二酸化炭素は0%にならない。外気の大気酸素濃度にまで下がるだけで、この緩和される%で全員が呼出した二酸化炭素量を消してしまう。要するに緩和される二酸化炭素濃度=全員が呼出した二酸化炭素量である。だから全員が呼出した二酸化炭素量を緩和される二酸化炭素濃度で割れば、全体の換気量が求められる。

問19【5】

AED 1回と心肺蘇生2分を組み合わせで行う。

問20【1】

(2) 不完全骨折である。

(3) 動かしてはいけない。

(4) おれた部位の両関節を超えて当てなければならない。

(5) 硬い板の上にのせて搬送しなければならない。

労働生理

問21【3】

胸郭内容積が増すと、その内圧は低くなり、肺はその弾性により拡張する。これが吸気である。

問22【1】

心筋は不随意筋であり構造は、内臓筋であるが骨格筋と同じ横紋筋で作られている。

問23【5】

筋肉中のグリコーゲンが酸素が十分与えられるとATP（アデノ三リン酸）まで分解されて、我々の生体活動のエネルギーになるが、酸素が不足すると乳酸となり疲労の原因物質との説がある。

問24【2】

- (1) 冷感が休息に表れ、温感が徐々に現れる。感覚点の密度の差である。
- (3) 遠視眼のことである。
- (4) 錐状体が色を感じ、杆状体が明暗である。
- (5) 嗅覚は鋭敏であるが、疲労しやすく慣れの現象が起こる。

問25【3】

体性神経には、情報を中枢に伝える知覚神経と、その情報を元に判断し運動さす運動神経からなる。自律神経は我々がコントロールできない不随意筋に分布しており、生命維持に必要な循環、呼吸、体温調節などを司っている。

問26【5】

- (1) 白血球のことである。
- (2) 白血球のことである。
- (3) 血漿中の蛋白質であるフィブリノーゲンが、けが等で体外に出た血小板の酵素によりフィブリンに変化し凝集し止血する作用である。
- (4) ヘマトクリット値は、血液中に赤血球が何%含まれているかを表すもので、貧血検査と呼ばれている。

問27【3】

尿素窒素は老廃物で、腎機能が低下すると排泄できなくなり、血液中に増えてくる。腎臓の重要な機能検査項目である。

問28【5】

無機塩、ビタミン類はこのまま体に必要なもので役立つものであるから、分解の必要性はない。

問29【3】

- (1) エネルギー代謝率は、作業に要した総消費エネルギー量から安静時の消費エネルギー量引き基礎代謝量で割ったものである。
- (2) (1)の通りである。
- (4) ただじっと座っているいるとき（安静時）のエネルギーの消費量は、代謝率の計算においては控除するので、この状態の代謝率は0になる。消費エネルギー量は基礎代謝量の1.2倍になるが作業強度を表す代謝率ではない。
- (5) 相対的率であるので、大きな差が生じない。だから指標として使用できる。

問30【3】

- (1) 内臓ではなく、体表面である。
- (2) 血管は収縮して血流量を減らし、血液を冷やされないようにして体温を温存する。
- (4) 不感蒸泄（ふかんじょうせつ）は全放熱量の約25%である。
- (5) 恒常性という。